

60. 婦人服のパターンに関する研究

共立女子短大 深山 静枝

1. 裁断には大別して平面裁断と立体裁断との二つがあるが、婦人服について、この方法による実際のパターンを比較研究し、立体裁断の長所を明らかにすると共に之を平面裁断の理論面に活用し、従来の平面製図に於ける難点を是正する為に本研究を行った。

2. 人台は同寸法のものを二体用い、一つずつのデザインについて、その一体には立体裁断をし、他の一体には平面製図から作製したものを着せ、両者の外観を比較した後これを取りはずして平面に置き、パターンを比較考察した。尚実際の比較に関しては身頃、スカート、衿、袖について夫々右半身を用いた。

3. 出来上りの外観は類似していても、平面裁断より立体裁断は全体のバランスが取れ、然もすっきりした感じを与える。之は要するに平面裁断の場合、ダーツやタックで立体感を出すのに比較し立体裁断の場合は直接着用者又は人台からパターンを得るので、そのまま立体感を盛る結果となり然も全体を見ながら形成してゆける特徴があるので、自らそこに両者の差異が生じてくる為であると思われる。これら両者の差異について具体的に述べる。